

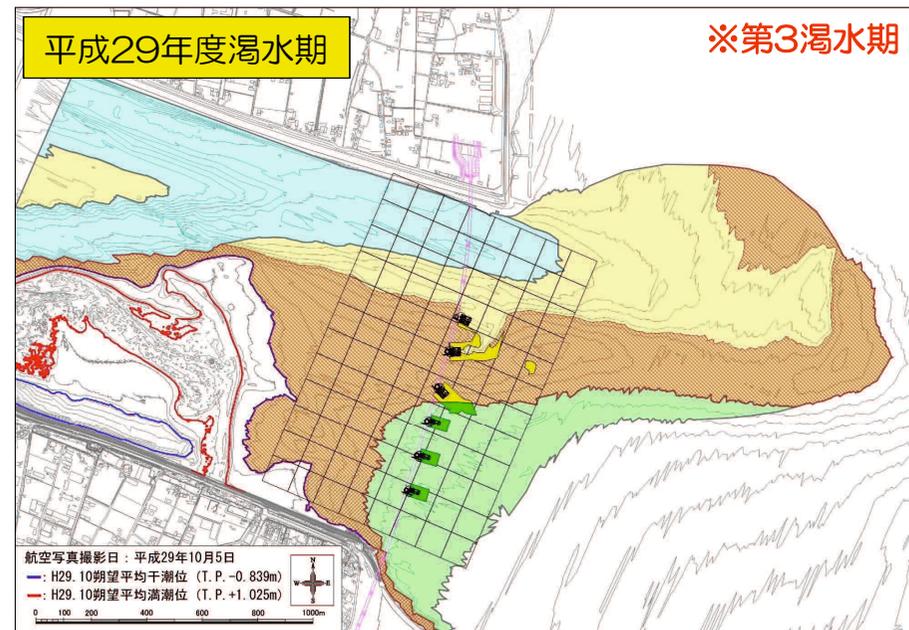
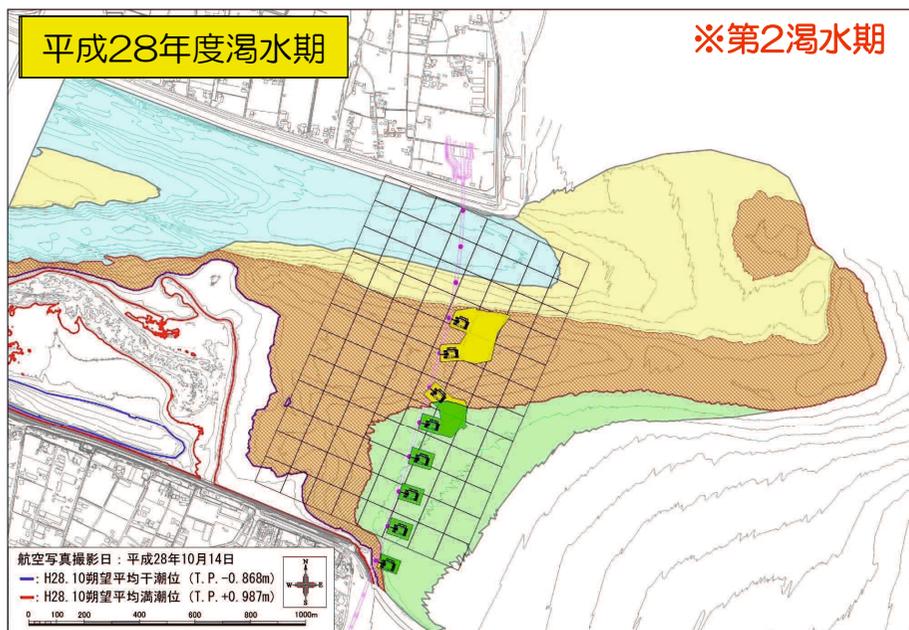
■ 浚渫の影響評価 ～区分1の指標種における影響値の比較～



第8回検討会時に公表した浚渫の影響評価の値と比較すると、区分1の指標種において影響値は**下がっている**ことが確認された。

■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第8回検討会）

■ 例：フジノハナガイの生息可能範囲（第10回検討会）



項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m ²	m ²	m ²
生息可能場面積	1,004,097	1,531,993	1,612,777
浚渫面積	37,312	36,749	37,312
浚渫の影響評価	3.7%	2.4%	2.3%

項目	フジノハナガイ	バカガイ	ヒサシソコエビ科
	m ²	m ²	m ²
生息可能場面積	1,014,050	1,507,704	1,538,058
浚渫面積	16,377	25,200	25,200
浚渫の影響評価	1.6%	1.7%	1.6%

影響値が減少

